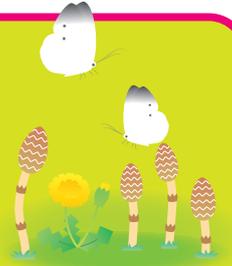




かめやま 社協だより



「社協」は **社**会福祉 **協**議会の略称です。

発行 社会福祉法人
亀山市社会福祉協議会

〒519-0164 亀山市羽若町545番地 市総合保健福祉センター「あいあい」内
TEL 0595-82-7985 FAX 0595-83-1578
ホームページアドレス <http://kameyama-shakyo.or.jp>
メールアドレス aiai@kameyama-shakyo.or.jp

第41号

平成27年4月1日発行

今回の特集 東日本 大震災

～今も続く、復興支援～

岩手県大槌町 ワークフォローおおつちの皆さん



ootsuchi

三重県亀山市 夢想工房と社協の寄託式



kameyama

復興支援ステッカー

がんばろう日本

主な記事

- 東日本大震災 ～続けよう！東北支援～ 特集 1・2ページ
- 亀山日常生活自立支援センター 3ページ
- 社会福祉協議会活動紹介コーナー 4ページ
- 平成27年度助成事業の募集 5ページ
- お知らせ 6ページ

「社協だより」は、市民の皆様からいただいている会費で発行しています。



●続く支援活動…

平成27年2月5日、亀山市本町にある指定障害福祉サービス事業所「夢想会・夢想工房」が、「がんばろう日本」ステッカーの収益金20万円を、亀山社協に寄託していただきました。今回で2回目となる寄付金は、三重県社協を通じ、岩手県大槌町社協から小規模作業所「ワークフォローおおつち」に送られました。

●支援のはじまり…

夢想工房の復興支援は、事業所の利用者の「自分達にも何か出来ることはないか」という提案から平成23年4月に生姜糖や生姜茶などの体も心も温まる品物を、送ったのがはじまりでした。

がんばろう日本

復興支援ステッカー

●復興支援ステッカー…

その後も同じ障がいを持った仲間を「みんなで応援していこう!」という気持ちから復興支援ステッカーの販売を始めました。現在も震災を風化させないよう、活動を続けられています。



募金活動の様子

特集 東日本大震災 今も続く、復興支援



大槌町3.11集いの様子

2011年3月11日 マグニチュード9.0の地震と10メートル以上の津波が大槌町を襲いました。

死者、行方不明者は合わせて1200人以上にのぼり、ワークフォローおおつちの施設のひとつも津波で流されてしまいました。津波の被害がなかった施設も、避難所として同年7月まで被災した方の生活の場になっていました。

夢想工房から送られた1回目の寄付金は、利用者と近所の仮設住宅で暮らしている方にも声を掛け、お餅つきをするのに使われまし

た。2回目の寄付金は、設立以来、初めての「ひな祭り」に使われました。かつて施設を避難所として利用していた方からも喜びの声が聞かれました。

震災から4年経った大槌町では、盛土工事や住宅の建設が始まり、復興が目に見えるようになってきました。同施設 蛇口久夫施設長は「心温まるご支援を励みに、これからの復興に向けて頑張っていきたい。」と話していました。



ひな祭りの様子

●東日本大震災義援金にご協力ありがとうございました。

平成27年3月1日までに
寄せられた義援金

総額 14,025,289円

お寄せいただいた義援金は、被災者の生活再建のために配分されます。

亀山地域権利擁護センターは

平成27年
4月1日より

亀山日常生活自立支援センターに名称変更されます

今までは「地域福祉権利擁護事業」の事業名が定着していましたが、このたび、地域住民により分かりやすくするために事業名を「日常生活自立支援事業」に変更します。

この変更は、名称のみの変更で、法的位置づけや事業内容に変更はありません。

日常生活自立支援事業とは

地域で生活している認知症の高齢者や知的障がい者、精神障がい者などの判断能力が不十分な方々に、安心できる生活を送っていただけるよう、ご本人との契約にもとづいたうえで社会福祉協議会がサポートします。

●●● こんなお手伝いができます ●●●

福祉サービスの利用のお手伝いをします。

- ◆どんなサービスが利用できるか、どのように利用すればよいかをわかりやすくご説明します。



日常のお金の管理をお手伝いします。

- ◆社会保険料や光熱費などの公共料金の支払い手続きのお手伝いをします。
- ◆生活費を預金の中から引き出したり、年金や福祉手当がきちんと振り込まれているか確認するお手伝いをします。

大事な書類をお預かりして保管します。

- ◆預金通帳や年金証書、保険証書、不動産権利証、契約書、実印、銀行印、などの大切な書類等をお預かりして保管します。



何の請求書かわからなくて、溜まって困っていたけれど、ちゃんと支払うことができるようになってよかった。



印鑑や通帳など、どこにしまったか分からなくなり、困っていたけれど、預かってもらっているから安心だわ。

| サービス内容 | ご利用料金 |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの利用援助サービス 及び日常的金銭管理サービス | 1回(1時間程度) / 1,000円 ※ただし、生活保護受給者、預貯金200万円以下の 市民税非課税者は利用料が免除(公費負担)になります。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 書類などの預かりサービス | 1ヶ月 / 250円(年間3,000円) ※すべての方にいただきます。 |

【問合せ先】

亀山日常生活自立支援センター
 (総合保健福祉センターあいあい 1番窓口)
 亀山市社会福祉協議会
 電話 (0595) 82-7985

担当者
こばやし えりな
 専門員 小林 英里奈

ご相談は無料です。
 お気軽にご相談ください。



社会福祉協議会活動紹介コーナー

認知症サポーター養成講座 1/19、22

日頃から地域の見守り活動してくださっている福祉委員を中心に、亀山地域包括支援センターと共催した寸劇を交えた講座を開催し、両日合わせて69名の方が参加しました。

一人でも多く認知症を正しく理解し、認知症の方を支える応援者（サポーター）になっていただこうと一緒に学びました。



寸劇を交えた講座を受ける参加者の様子

子育て応援！はじめての親子りょうり教室 2/14

市内で活動している子育てサロン「ママクッキング」との共催で、現在子育て中の親子11家族31名が参加しました。

小さなお子さんも楽しく参加できるように、ちぎって、混ぜて、丸められるハンバーグなどを中心に、バレンタインにちなんだガトーショコラなども作りました。料理を通して、日頃の子育ての話や子ども同士の交流を深めました。



料理中の様子

地域福祉講演会 3/1

地域福祉計画の基本理念の「共に支え合い、いきいきと暮らすまち亀山」の実現に向けて、地域の皆様と一緒に推進していくため、市と共催で開催し、100名の方に参加していただきました。

【講演内容】

新潟県新潟市にある常設型サロン「実家の茶の間」代表の河田珪子氏を講師に招き、「ずっとここで暮らし続けたい～人と人とのつながりから広がる安心社会～」をテーマに地域の人材を活かした住民活動を行うためには何が必要なのかをお話しいただきました。



講演の様子

河田珪子さんは、「私には帰る実家がもうない」という高齢者の言葉をきっかけに、人と人が繋がる地域包括ケア推進モデルハウス地域の茶の間・紫竹を立ち上げ、常設型サロンの運営をし、今も活躍されています。

【参加者の声】

「高齢化の進むこれからの地域で生きていくために、みんなで力を合わせていきたい」「地域福祉の主役だということを感じました。」など地域福祉への関心の高さが伺えるご意見をいただきました。

役職員先進地視察研修 3/6

亀山市社会福祉協議会の理事、監事、評議員、職員等、29名が参加し滋賀県高島市社会福祉協議会にて視察研修を行いました。

先進的な取り組みである「たかしま流見守りネットワーク活動」の実践内容や介護保険事業の経営状況、法人運営などについてお話しいただき短い時間ではありましたが、多くのことを学ぶことができました。この研修で学んだことを今後の事業運営に活かしていきたいです。



研修の様子

平成27年度助成事業の募集を行います

募集期間 平成27年4月1日～平成27年4月30日まで

(受付時間は土日、祝日を除く8時30分から17時15分まで)

※各助成事業の申請書は、窓口またはホームページからダウンロードできます。

「ふれあい・いきいきサロン」 「子育てサロン」助成事業

「ふれあい・いきいきサロン」「子育てサロン」を行っている、またはこれから始めようとしている団体に対して助成を行います。

対象団体 以下のすべてにあてはまり、5人以上で組織する団体

- ①おおむね75歳以上の方、障がい者、子育て中の親子やボランティアなど自主的に活動している集まり（老人クラブ、子ども会などは別組織とします）
- ②月1回以上、おおむね1回2時間以上の開催
- ③原則として個人負担（食事代、材料代など）

助成金額 1団体につき年間2万円以内
※初回申請の団体は年間3万円以内

共同募金配分金助成事業

社会福祉の向上を目的とする事業並びに地域住民のニーズに基づく地域福祉事業等に要する経費で、公的補填のないものに対して行います。

※ただし、次のものは除きます。

- ①役員会、総会、大会経費及び職員の人件費等、団体の運営に要する経費
- ②2県以上にまたがる地区を対象とした大会や会議に要する経費
- ③他団体から委託を受けた事業の経費補填
- ④その他、社会福祉を目的とする事業と認めがたい事業の経費

これらの助成事業は、市民の皆様からご協力いただきました赤い羽根共同募金を財源としています。

亀山市ボランティア基金助成事業

助成事業 ボランティアセンターに登録している、またはこれから登録しようとしているボランティア団体及び個人を対象に、社会福祉の向上のために行う福祉ボランティア活動に要する経費で、公的補填のないものに対して行います。

ボランティアセンターに登録しませんか？

登録すると、ボランティア基金やボランティア活動保険の助成を受けられる他、ボランティアルーム及びロッカーの使用が出来たり、活動を紹介することで、グループのPRにも繋がります。

入れ歯リサイクル事業にご協力ください。

不要になった「入れ歯」をご寄付ください。リサイクルをしたその収益金がユニセフを通じて世界の子どもたちへの支援に役立てられます。ぜひ、ご協力お願いいたします。

| リサイクル対象 | |
|---------------|------------|
| ① 入れ歯 | 歯にかぶせた金属 |
| | 歯に詰めた金属 |
| | 歯と歯をつないだ金属 |
| ② 使っていないアクセサリ | |

入れ歯回収場所

- 総合保健福祉センター
あいあい
(西口玄関自動ドア横)
- 健康づくり関センター



●元公証人による法律相談および心配ごと相談をご利用ください。

| 相談名 | 元公証人による法律相談 | 心配ごと相談 |
|------|-------------------------|-------------------|
| 相談日時 | 毎月第2、4金曜日 午後1時～3時 | |
| 相談内容 | 相続、遺言、離婚、賃貸借等の法律相談 | 生活上のあらゆる心配ごと、困りごと |
| 場所 | あいあい1階 個別相談室 | あいあい1階 相談室2 |
| 申込等 | 原則予約制ですが、当日申込可。費用は無料です。 | |

◆公証人とは、裁判官や検事、法務局長などを長く務めた法律実務経験豊かな者の中から、法務大臣が任命する法律の専門家です。

◆心配ごと相談員とは、社会福祉協議会から委嘱を受けた、相談援助の豊富な経験を有する方です。

●ふれあい・いきいきサロン活動取材しました。

ふれあい・いきいきサロン団体の「ゆりの会」「おりづる会」「趣味の会」「すみれの会」では2月から3月にかけて各会で、市内保育所や子育て支援センターに手作りの手まりやお手玉などの寄贈を行いました。

厚生保育園や、みなみ保育園ではおもちゃのお返しに園児から歌のプレゼントがあり、なのはな保育園ではお茶をたてて、おもてなしをしてくれました。自分達で作ったおもちゃを直接子どもたちに届けたサロンの参加者は、「作ったかいがあった。子どもたちの笑顔を見るために活動を続けたい。」と話していました。



寄贈の様子

●つくしの家 中谷優太さん(21)が 第23回全国障がい者ボウリング大会で5位入賞しました。



平成27年2月14日(土)・15日(日)に第23回全国障がい者ボウリング大会が行われました。中谷さんは今回で2回目の出場で、予選を17位で通過。決勝戦では勝負強さを発揮し、5位入賞を果たしました。

中谷さんは「始めは緊張したけれど、段々ほぐれてきて良い結果が出せた。」今後の目標は「あせらず一段一段、階段を上げるように順位を上げていきたい」と話していました。今後も活躍を期待しています。

善意の寄付 (平成26年12月11日～平成27年3月10日まで)

三重県遊技業協同組合亀山支部様、古河電気工業労働組合三重支部様、鈴鹿農業協同組合様、城北ナイスフレンズ様、城北地区まちづくり協議会様、亀山市立亀山東小学校6年生様、亀山市地区コミュニティ連絡協議会様、亀山市婦人連絡協議会様、大田耕平様、横山正様
お寄せいただきましたご芳志は、社会福祉事業のため有効活用させていただきます。厚くお礼申し上げます。

亀山市の福祉指数(平成27年3月1日現在)

| | |
|--------------|---------------------------------------|
| 市総人口 49,956人 | 65歳以上の人口 12,349人(男性 5,477人 女性 6,872人) |
| 世帯数 20,602世帯 | 18歳以下の人口 8,968人(男性 4,562人 女性 4,406人) |
| | 高齢化率 24.7% |

印刷
株式会社 一誠堂

リサイクル適性(A)
再生紙を使用しています。